

令和2年度に実施した水害対策事業について

1 要 旨

近年、毎年のように全国各地で大規模水害が多発していることを受け、令和元年台風19号の教訓を踏まえ昨年度策定した「東京都北区 大規模水害を想定した避難行動の基本方針」（以下、「基本方針」という。）の内容について広く区民に普及啓発を図る等、水害に対する理解を深めていただくため、令和2年度に実施した水害対策事業は以下のとおりである。

2 令和2年度の水害対策事業

(1) 北区ニュース水害特集号（7月20日）の全戸配付

基本方針の要旨及び、新しく整理した水害に対応した避難場所等について区民への周知を行った。

(2) 区民・地域を対象とした基本方針の普及事業

①水防災シンポジウムの開催

<1回目：8月21日、北とぴあ飛鳥ホール>

内容：基本方針の策定にあたっての検討会の委員長を務めた加藤東京大学教授による水害をテーマにした講演、基本方針の解説

<2回目：12月4日、北とぴあつつじホール>

内容：荒川氾濫時の浸水想定区域内の町会・自治会長や役員の方々によるワークショップでの成果の発表、ワークショップの発表者と学識経験者によるパネルディスカッションなど

②荒川氾濫の浸水想定区域内の町会・自治会を対象としたワークショップの開催

<1回目：10月6日、滝野川会館小ホール（滝野川地区対象）>

<2回目：10月13日、北とぴあスカイホール（王子地区対象）>

<3回目：10月21日、赤羽会館大ホール（赤羽地区対象）>

内容：浸水想定区域内の町会・自治会連合会（12連合会）を対象に、荒川氾濫時の避難行動をテーマに、地域ごとの課題や対応策について話し合いを行った。

(3) マイ・タイムライン関連事業

区民の方に、水害に備え、事前にどのタイミングで、どこに避難するか等の避難行動計画（マイ・タイムライン）を作成していただき、いざという際に円滑な避難ができるようにする。

① マイ・タイムライン普及リーダー育成講習会

＜8月29日、9月4日の計2回開催、受講者数は計58人。本人の希望により44人の方をリーダーに認定＞

町会・自治会長や役員、民生委員、防災士等、他の方々にマイ・タイムラインの作成を指導する役割を担う方々を対象として実施。

② マイ・タイムライン作成講座

＜9月23日・26日・29日の計3回開催、受講者数は合計で45人＞

ご自身やご家族の安心・安全のためにマイ・タイムラインを作成いただく方々を対象として実施。

(4) 聴覚障害者への戸別受信機の配付

聴覚障害手帳所持者（1～2級）を対象に、区からの避難情報を文字で表示する戸個別受信機約300台を配付するにあたり、機種選定のための説明会を開催（各家庭への配付は令和3年6月上旬予定）。

(5) 土砂災害ハザードマップの改訂

土砂災害に対応した避難場所を見直したことに伴い、土砂災害ハザードマップの改訂を行った。3月下旬より対象エリアにお住いの方に個別配付等を予定。

(6) 浸水深表示シールの区内施設への表示

平時から荒川氾濫の危険性を認識してもらうことを目的に、浸水区域内にある区有施設等約170カ所にその地点の浸水深を記載した浸水深シール（A4サイズ）を表示する。3月中旬頃から表示予定。

(7) まるごとまちごとハザードマップの更新

荒川氾濫に対応した避難場所を見直したことに伴い、浸水区域内にある電柱69カ所の表示物の更新を行った。